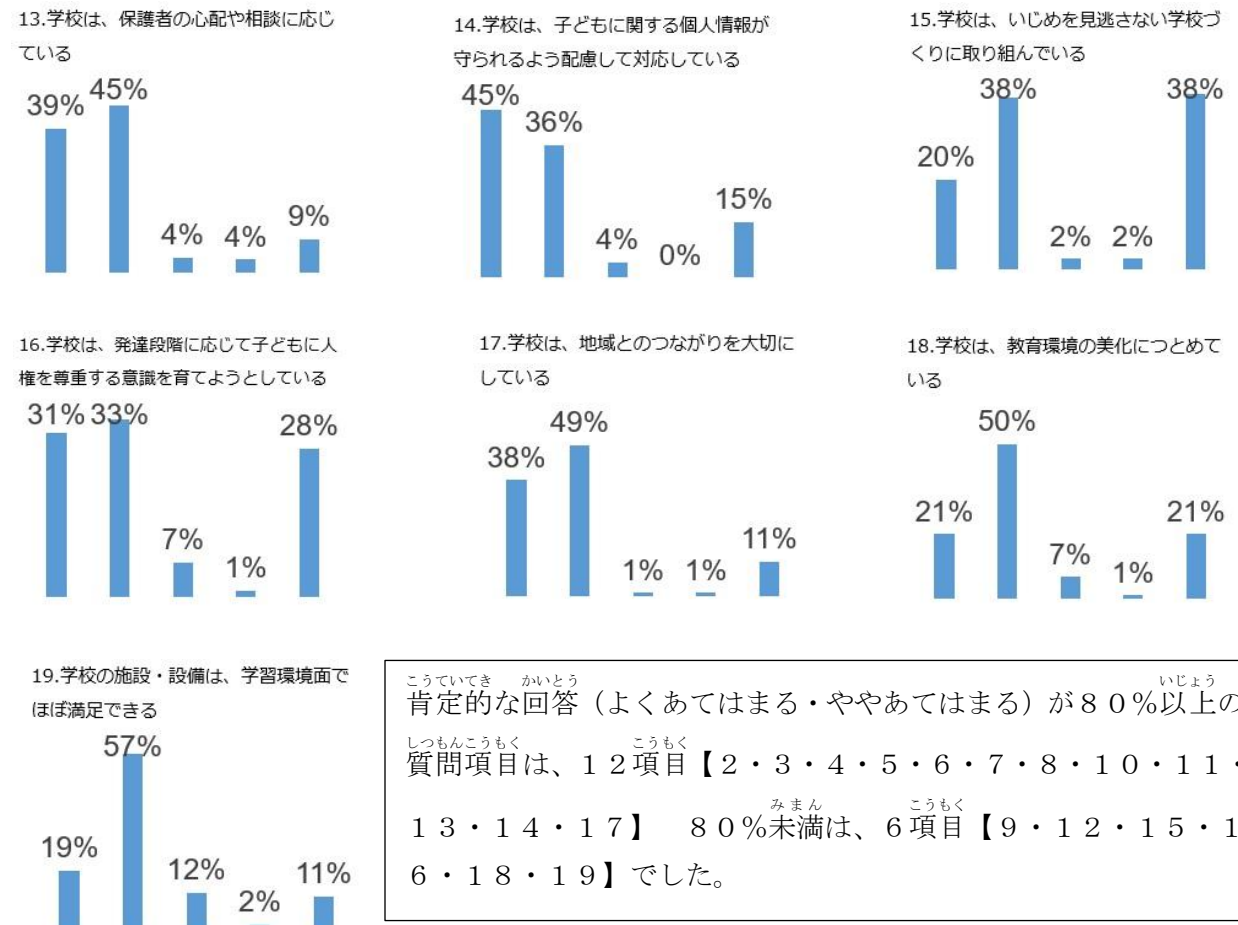
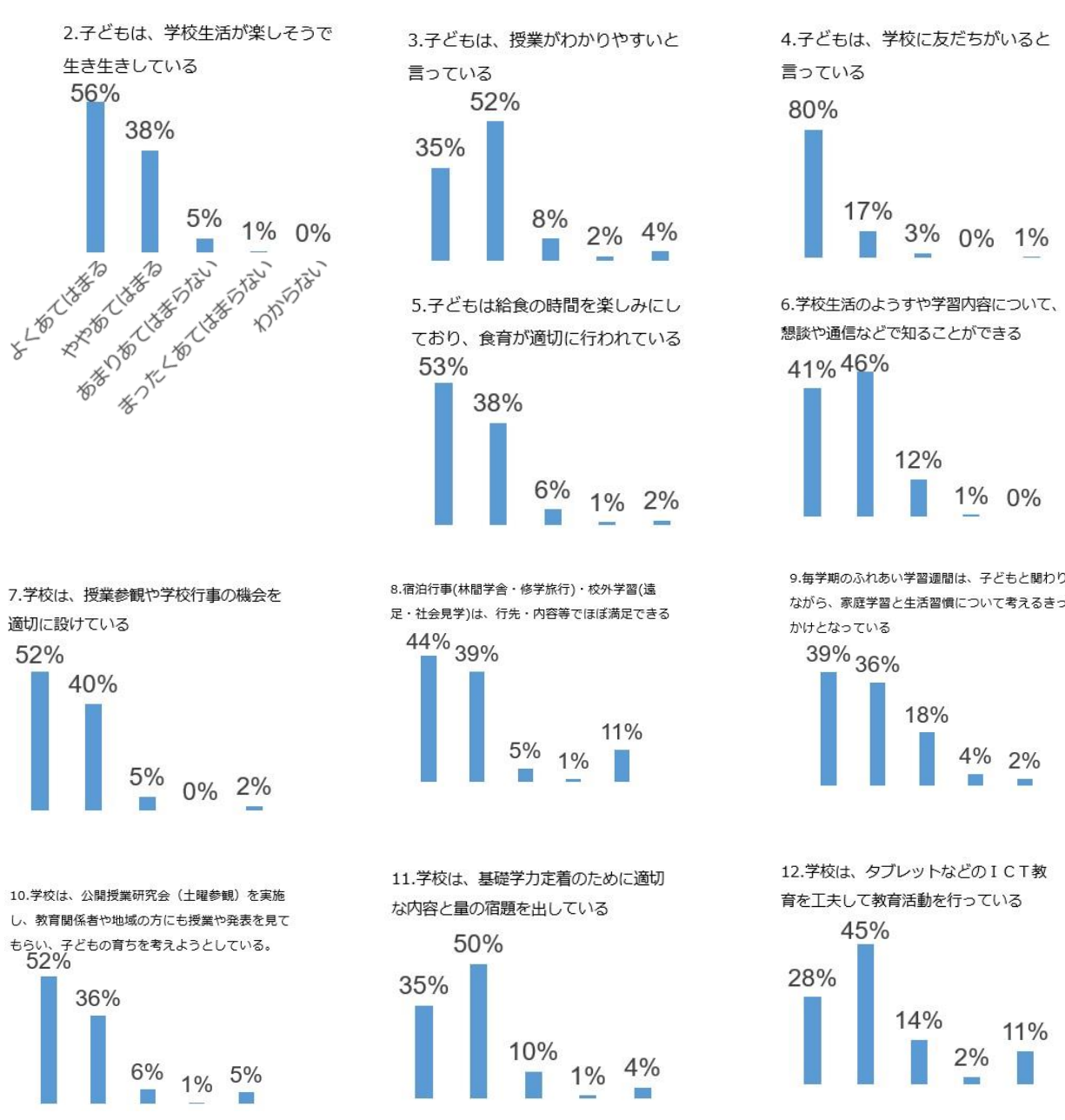


学校教育自己診断票の結果について

2月22日から28日に行いました学校教育自己診断票に、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。児童数の約47%（168回答）をいただきました。結果については以下の通りです。（1の子どもの学年を問う質問は、省略しています。）



肯定的な回答（よくあてはまる・ややあてはまる）が80%以上の質問項目は、12項目【2・3・4・5・6・7・8・10・11・13・14・17】 80%未満は、6項目【9・12・15・16・18・19】でした。

80%未満の各項目について考察しました。

- 【9】については、否定的な回答が22%ありました。小学校にごきょうだい複数いるご家庭の負担についてお聞きし、3学年ずつ週間を分けるようにしてきましたが、更に内容等について検討していきたいとおもいます。
 - 【12】については、学年によってもばらつきがありました。今年度と来年度の2年間、豊中市校内研究推進事業「情報活用能力の育成に向けて」の指定を受けて、研究をすすめているところです。講師を招いて先進校の事例を教えてもらったり、1年生から6年生の系統的なカリキュラムを作成中です。
- 《裏面に続きます》

- 【１５】と【１６】については、[わからない] の回答割合が多く、学校での取り組みを保護者の皆様に分かりやすく発信出来ていない事がわかりました。2月18日の土曜参観で生活科・人権総合学習の授業を参観していただいたように、学力保障と人権教育の両輪ですすめています。発信の工夫を考えたいと思います。
- 【１８】と【１９】については、学校の校舎自体がかなり古いことも影響していますが、美化活動を意識していきたいと思います。施設設備面については、教育委員会に要望も挙げながら環境整備に努めていきます。

保護者の皆様の貴重なご意見本当にありがとうございました。客観的な意見が数字で表されたと感じました。教職員で検討していき、教育改善に向けて役立てたいと思います。



3月13日（月）から3月31日の間のマスクの着脱について

文部科学省の通知（令和5年2月10日付）により、学校におけるマスク着用の考え方の見直しは令和5年（2023年）4月1日から適用するとされていることを踏まえ、3月31日までににおける卒業式以外の学校教育活動においては、学校における活動場所や活動場面に応じたメリハリのある「適切なマスクの着脱」をするようにと指示されております。これまでのマスクの着脱と変更はありませんので、お知らせいたします。

なお、『学校生活におけるマスク着脱について』の詳細は、豊中市HPの小中学校トピックスに掲載しておりますので、参照ください。

6年生は、卒業式まで学校に来るのも、あと5日となりました。1年生から5年生は、あと8日。次の学年への思いをはせながら、今の学年・クラスでの残りの日数を大切に過ごしています。

保護者の方で、お子さまのことなどでご心配な事がありましたら、遠慮なさらず担任や職員など直接学校にご相談ください。